

平成 1 1 年度

特定非営利活動法人日本拳法協会
定時社員総会

平成 1 1 年度

特定非営利活動法人日本拳法協会
定時社員総会

平成 1 2 年 5 月 2 7 日 (土)

午後 5 時 ~ 6 時

高輪プリンスホテル国際館パミール

1 . 開会の挨拶 理事長 石黒 邦男

2 . 議事

第 1 号議案 定款の配布について

第 2 号議案 役員新任の報告と承認について

第 3 号議案 平成 1 1 年度事業報告・決算報告と承認について

第 4 号議案 平成 1 2 年度事業計画案・予算案と承認について

第 5 号議案 その他会の運営に関することについて

4 . 閉会の挨拶 理事長 石黒 ・邦男

平成11年度「特定非営利活動に係る事業」会計財産目録

平成12年3月31日現在

特定非営利活動法人

日本拳法協会

科目・摘要	金額		
資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	0		
普通預金	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産			
土地	0		
固定資産合計		0	
資産合計			0
負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			0

平成11年度「特定非営利活動に係る事業」会計貸借対照表

平成12年3月31日現在

特定非営利活動法人

日本拳法協会

科目・摘要	金額		
資産の部			
1 流動資産	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			0
負債の部			
1 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債	0		
長期借入金			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産の部		0	
基本金			
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			0

平成11年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支計算書

平成12年1月20日から平成12年3月31日現在

特定非営利活動法人

日本拳法協会

科 目	金 額		
収入の部			
1 財産運用収入	0	0	
2 会費入会金収入		0	
3 事業収入	0	0	
当期収入合計(A)		0	
前期繰越収支差額		0	
収入合計(B)			0
支出の部			
1 事業費			
主たる事業費	0	0	
2 管理費			
長期借入金	0	0	
当期支出合計(C)			0
当期収支差額(A) (C)			0
時期繰越収支差額(B) (C)			0

平成11年度「収益事業」会計財産目録

平成12年3月31日現在

特定非営利活動法人

日本拳法協会

科目・摘要	金額		
資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	0		
普通預金	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産			
土地	0		
固定資産合計		0	
資産合計			0
負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			0

平成11年度「収益事業」会計貸借対照表

平成12年3月31日現在

特定非営利活動法人

日本拳法協会

科目・摘要	金額		
資産の部			
1 流動資産	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			0
負債の部			
1 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債	0		
長期借入金			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産の部		0	
基本金			
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			0

平成11年度「収益事業」会計収支計算書
 平成12年1月20日から平成12年3月31日現在

特定非営利活動法人
 日本拳法協会

科 目	金 額		
収入の部			
1 財産運用収入	0	0	
2 会計入会金収入		0	
3 事業収入	0	0	
当期収入合計(A)		0	
前期繰越収支差額		0	
収入合計(B)			0
支出の部			
1 事業費			
主たる事業費	0	0	
2 管理費	0	0	
当期支出合計(C)			0
当期収支差額(A) (C)			0
時期繰越収支差額(B) (C)			0

第 4 号議案

平成 1 2 年度事業計画（案）・予算（案）と承認について

平成 1 2 年度

1 事業実施の方針

今や、日本は、安全な国ですとは云えなくなりました。

マスコミは、毎日のように、殺人、薬物事件、詐欺や外国人がらみの誘拐、環境破壊や汚染などを報道しています。子供達にとってもけっして安全ではありません。荒れる教室、すぐにキレル少年、家庭内暴力。国民全体のモラルの低下と嘆いて済むことではありません。自分や家族の身は自分で守るくらいの気概を持つべきなのでしょうが、現実それも難しいことです。

予知能力をと云わないまでも、危険に近づかない心得を身につけたらどうでしょうか。武道を通して時間をかけて習得することが出来ます。本当のセルフディフェンスです。日々の訓練や活動に加えて、指導講習会、リーダー育成の一環として技術審査会を行い、競技大会も開催します。このような行事に参加を重ねるごとに仲間が出来て互いに啓発し合い、共感をとにもすることで楽しく自信をたかめて行くことができます。強く正しく自信に溢れる若者づくりを目指します。また、親睦と融和を図るうえで、他のボランティア団体との交流と相互協力関係をはぐくみ、併せて地域の方々と協力して、ゴミ拾いや緑の保護活動、救急法の訓練なども計画しています。このような体験の中から、もしもの災害時にリーダーシップがとれる人材が育ってくれる可能性にも期待をするものです。世の為人の為に何かをしようとする心を育むのです。

私達は、スポーツボランティア集団として特定非営利活動法人として更に社会的な信用を得られるように努力し、新たなスタートをしたいと思います。

以上は平成 1 1 年度の方針ですが、これを平成 1 2 年度に引き継ぎ実施します。

特定非営利活動法人日本拳法協会として 2 期目を迎える平成 1 2 年度は、2 1 世紀にまたがる歴史的にも意義のある年度です。

大部分の事業は昨年度に立てた計画に沿って、ほぼ同じくり返しを重視して実施するのですが、リーダー育成プログラムは、年度毎の特長を持った内容を計画する努力を委員会に求めて行きます。会の発展はリーダーの質の向上にかかって居ります。さらに充実した活動を実行する為にも人材育成には重点をおきます。その為の資金づくりの手段として、収益事業にも着手します。インターネットを使っての通信講座を、主に外国対象に試みます。ソフトやシステムの構築費用が必要になります。入会金をそれに充当します。

平成 12 年度 (2000) 特定非営利活動法人日本拳法協会 行事予定表 (案)

平成 12 年 4 月 1 日 ~ 平成 13 年 3 月 31 日

年/月	大会	理事会	昇段級審査会 審判員講習会	指導員講習 (第二日曜)	全日本体重別選考会 審判員講習会	師範会	備考 (地方大会等)
12 年 4		1 (土) 14:00 ~ 海運クラブ				30 (日) 師範会 10:00 ~	29 (土) 静岡少年大会
5	28 (日) 全国拳法選手権大会 有明スポーツセンター	20 (土) 14:00 ~ 海運クラブ		14 (日) 試験 10:00 ~ 月島スポーツプラザ			27 (土) 45 周年 N P O 祝賀会 高輪プリンスホテル
6		10 (土) 14:00 ~ 海運クラブ	4 (日) 10:00 ~ 協会主催	17 (土) 18 (日) 講習・試験 (札幌) 北海道主管	4 (日) 13:00 ~		
7	30 (日) 全国高校少年大会 有明スポーツセンター	1 (土) 14:00 ~ 海運クラブ		9 (日) 講習 10:00 ~			
8							
9		2 (土) 14:00 ~ 海運クラブ	9 (土) (夏期合宿) 学連主催 30 (土) (池上) 19:30 ~ 本部道場主催	16 (土) 17 (日) (香川県) 西日本地区主管			23 (土) 静岡大会
10		14 (土) 14:00 ~ 海運クラブ		8 (日) 試験 10:00 ~		29 (日) 師範会 10:00 ~	
11	26 (日) 全日本拳法選手権大会 形競技・空乱撃競技大会	11 (土) 14:00 ~ 海運クラブ					
12			3 (日) 10:00 ~ 協会主催		3 (日) 13:00 ~		
13 年 1		13 (土) 14:00 ~ 海運クラブ			28 (日) 最終選考 13:00 ~		
2		3 (土) 14:00 ~ 海運クラブ	24 (土) (池上) 19:30 ~ 本部道場主催	11 (日) 講習 10:00 ~			
3	4 (日) 全日本拳法体重別 選手権大会・錬成大会	10 (土) 14:00 ~ 海運クラブ		17 (土) 18 (日) 講習・試験 静岡県主管			

場所の記入のなしのところは、会場未定です。決定次第お知らせします。

〒411-0918 静岡県駿東郡清水町湯川 154-1-302 TEL 0 5 5 9 - 7 1 - 3 3 3 0 FAX 0 5 5 9 - 8 1 - 0 7 7 7 事務局

会員は、全ての行事に参加できます。日本拳法をとおして、人としての心得を習得しよう。自分をたかめるのは自分自身です。

ボランティア事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従業者の予定 人数	受益対象者 の範囲およ び予定人数
社会奉仕活動	地域ごとに行われる防災、緑化環 境美化、スポーツ行事等に参加す る。および他ボラ身障害者の為のスポーツおよび社会活動の支援。国外に向けて活動するボランティア団体と協力して行う、識字教育の支援と、生活用品提供などを行う。	地域の予定日 および他ボラ ンティア団体 の予定日	全国各地の 活動拠点	年間参加延べ 人数 500 人	地域住民等

収益事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従業者 の予定 人数
講演および 研修会	武道経験を通しての講演、日本拳法の体験など精神性の特性を応用したビジネスマン研修や、インターネット等の通信講座も含む危機管理などのセルフディフェンスに関わる研修会を行う。	随時 年間 10 回程度	全国の開催希望地および インターネット等の通信 講座	3 人
物品の販売	書籍、ビデオ、拳法の用品用具 の販売	随時	全国対象	1 人

平成12年度 特定非営利活動に関わる事業 会計収支予算(案)

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

科 目	金 額 (単位:円)		
収入の部			
1 財産運用収入		0	
2 会費・入会金収入			
入会金収入			
(¥10,000 × 300 名)	3,000,000		
正会員会費収入			
(¥5,000 × 600 名)	3,000,000		
賛助会員会費収入			
個人 (¥10,000 × 100 名)	1,000,000		
特別会員会費収入			
(¥50,000 × 20 名)	1,000,000		
家族会員費収入			
(¥3,000 × 600 名)	1,800,000	9,800,000	
3 補助金収入		0	
民間補助金収入			
4 寄付金収入			
寄付金収入	800,000	800,000	
5 事業収入			
大会出場料	4,000,000		
講習会受講料	500,000		
審査会受験料・認定料	2,400,000	6,900,000	
当期収入合計 (A)		17,500,000	
前期繰越収支差額		0	
収入合計 (B)			17,500,000

平成12年度 特定非営利活動に関わる事業 会計収支予算(案)

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

科 目	金 額 (単位:円)		
支出の部			
1 事業費			
大会運営費 年間4回	4,000,000		
大会会場費	300,000		
講習会等会場費	300,000		
講習会等旅費交通費	200,000		
地方大会支援費 20,000×15回	300,000		
外注費(認定証等コンピュータ作製費)	1,400,000		
社会奉仕活動費 50,000×10回	500,000	7,000,000	
2 管理費			
事務委託費	2,200,000		
家賃	1,800,000		
会議費	100,000		
事務費	3,000,000		
租税公課	100,000		
旅費交通費	1,200,000		
研修費	100,000		
通信費	800,000		
交際費	100,000		
雑費	300,000	9,700,000	
3 予備費		400,000	
当期支出合計(C)			17,100,000
当期収支差額(A) - (C)			400,000
次期繰越収支差額(B) - (C)			400,000

平成12年度 収益事業 会計収支予算(案)
平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

科 目	金 額 (単位:円)		
収入の部			
1 財産運用収入		0	
2 事業収入			
用具・用品のとりつき販売	3,000,000		
書籍・ビデオのとりつき販売	600,000		
講演講師料	100,000	3,700,000	
3 補助金収入		0	
4 寄付金収入		0	
当期収入合計(A)		3,700,000	
前期繰越収支差額		100,000	
収支合計(B)			3,800,000
支出の部			
1 事業費			
用具・用品の仕入	2,500,000		
書籍・ビデオの仕入	480,000		
講演・講師謝礼	100,000	3,080,000	
2 管理費			
事務委託費	200,000		
運賃	100,000		
雑費	100,000	400,000	
3 法人税充当額		100,000	
4 予備費		100,000	
当期支出合計(C)			3,680,000
当期収支差額(A) - (C)			20,000
次期繰越収支差額(B) - (C)			120,000

平成11年度特定非営利活動法人日本拳法協会定例社員総会議事録

1 日 時 平成12年5月27日(土) 午後5時から6時まで

2 会 場 高輪プリンスホテル国際館パミール

3 出席者数 13名

(社員総数13名。内、書面表決者3名。実出席者10名。)

(1) 理事長 石黒邦男が出欠確認の上、開会を宣し、議事録署名人を選出する。

議事録署名人を浦口高典、桶谷尚夫の2名とする。

(2) 理事長 石黒邦男が議長となり以下の事項を審議する。

4 審議事項

第1号議案 定款の配布。満場一致で挙手、承認。

第2号議案 役員新任の報告と承認について。満場一致で挙手、承認。

第3号議案 平成11年度事業報告・決算報告と承認について。満場一致で挙手、承認。

第4号議案 平成12年度事業計画案・予算案と承認について。満場一致で挙手、承認。

第5号議案 その他会の運営に関することについて。懇親会の場合での懇談とする。

なお、付帯決議として、議事録の作成及び、報告書等の提出作業に伴い生ずる書類の字句等の修正については、理事長に委任することが確認された。

以上、全議題を審議し満場一致で承認され、議長石黒邦男が閉会を宣し、定例社員総会を終了した。

平成12年5月27日

議 長 石黒 邦男 印

議事録署名人 浦口 高典 印

同 桶谷 尚夫 印